

## 今年のインフルエンザワクチン接種について

平成21年10月24日 藤本循環器科・内科 院内講演資料

今年は毎年行っている季節性インフルエンザ予防接種を一般の方は10月5日から、65歳以上の方は15日から開始しております。これに加えて新型インフルエンザの予防接種を10月中旬から厚生労働省の優先順位に従って開始しております。

### 優先的に接種する対象者について

対象者		人数
優先接種対象者	①インフルエンザ患者の診療に直接従事する医療従事者(救急隊員含む。)	約100万人
	② 妊婦	約100万人
	基礎疾患を有する者	約900万人
	③1歳～小学校3年生に相当する年齢の小児	約1,000万人
その他	④・1歳未満の小児の保護者 ・優先接種対象者のうち、身体上の理由により予防接種が受けられない者の保護者等	約200万人
	小学校4～6年生、中学生、高校生に相当する年齢の者	約1,000万人
	高齢者(65歳以上)(基礎疾患を有する者を除く)	約2,100万人
		約5,400万人

➡ 上記以外の者に対する接種については、上記の者への接種状況等を踏まえ、対応。 3

### ワクチン優先接種対象の基礎疾患

- 慢性呼吸器疾患 気管支喘息やCOPD、気道分泌物の誤嚥のリスクのある者(脳性麻痺、認知機能障害、精神運動発達障害等)を含む。
- 慢性心疾患 血行動態に障害がある者を対象とする。ただし、高血圧を除く。
- 慢性腎疾患 透析中の者、腎移植後の者を含む。
- 慢性肝疾患 慢性肝炎を除く。
- 神経疾患・神経筋疾患 免疫異常状態、あるいは呼吸障害等の身体脆弱状態を生じた疾患・状態を 対象とする。
- 血液疾患 鉄欠乏性貧血、免疫抑制療法を受けていない特発性血小板減少性紫斑病と 溶血性貧血を除く。
- 糖尿病 妊婦・小児、併発症のある者。またはインスリン及び経口糖尿病薬による 治療を必要とする者。
- 疾患や治療に伴う免疫抑制状態 悪性腫瘍、関節リウマチ、膠原病、内分泌疾患、消化器疾患、HIV 感染症等を含む。
- 小児科領域の慢性疾患。 染色体異常症、重症心身障害児・者を含む。

新型ワクチンは年度内に7700万人分(国内産2700万・輸入5000万)確保の予定

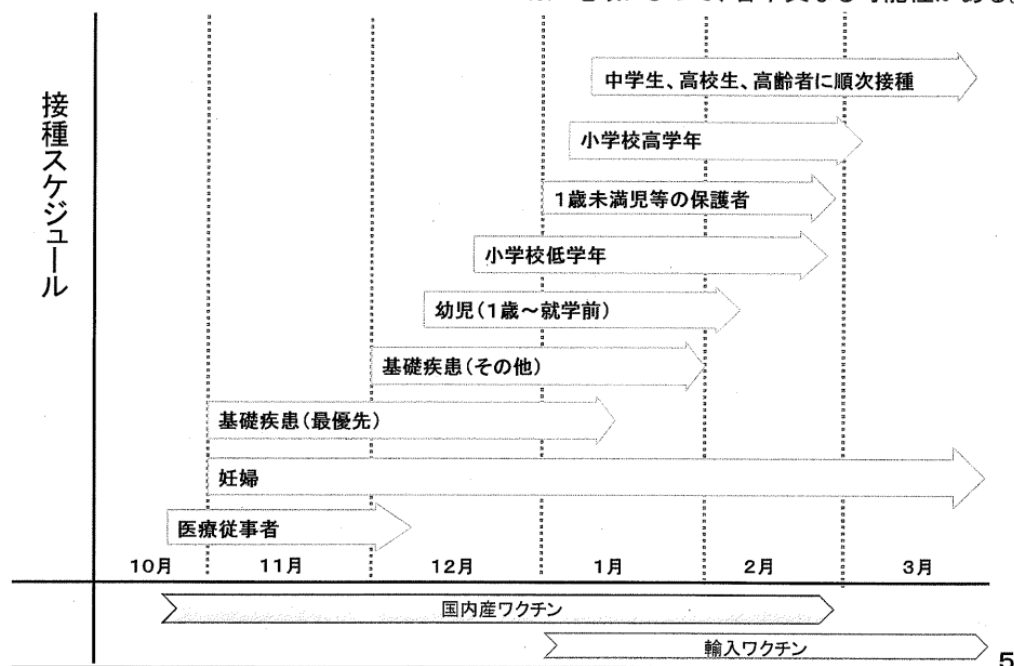
接種費用：所得により市町村の補助の可能性

1回目 3600円

2回目 2550円(同一医療機関の場合)

## 接種スケジュールの目安

※ 地域によって、若干異なる可能性がある。



接種回数：20～50歳代医療関係者は1回、他は原則2回（10月20日現在）

### ～受診するときに気をつけること～

- ◎ 必ず事前に、医療機関に電話をした上で、受診してください。
- ◎ 受診する際は、必ずマスクを着けてください。

### 自宅での注意

- ・ 自宅療養する期間について
  - 発熱、咳、のどの痛み、鼻水・鼻づまりなどの症状が続いている間はできるだけ外出しないで下さい。
  - 症状が始まった日から5日以内に症状が無くなった場合は、症状が始まった日から7日目まで又は熱が下がった日から2日を経過するまでは、できるだけ自宅に待機して下さい。
  - 症状が始まった日から6日以上症状が続く場合は、熱が下がった日から2日を経過するまでは、できるだけ自宅に待機して下さい。

咳エチケットを守りましょう。

- 咳が続いている間はマスクをしましょう。
- マスクが無く、咳やくしゃみをする時は、ティッシュなどで口と鼻を覆いましょう。
- 使ったティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳をする時は顔を他の人に向けず、できれば1メートル以上離れましょう。

手をこまめに洗いましょう。

- 特に咳、くしゃみをした後には手を洗うことを心がけましょう。
  - 石けんと水道水(温水)で、15～20秒間は洗いましょう。
  - 水が使えない場所では、アルコール手指消毒剤(ジェルなど)も効果的です。
- ◇ スーパー、薬局で買い求めることができます。